

Overview: 命は人のあらゆる状況の必要に応じて、神の家を建造します。命の結果は、宴席の家としての召会生活です。宴席の家は、復活の命によって生み出されます。召会は復活の命の産物であり、宗教の外にあり、ベタニヤのらい病の人シモンの家にありました。召会は、外側では貧しく、苦悩があるかもしれませんが、しかしながら、内側では、召会のあらゆるものは尊く、甘く、愛らしいのです。なぜなら、私たちの主の臨在に対する享受は豊富であるからです。また、私たちはみな召会の中で三つの役割(仕え、証し、主を愛する)を持つ肢体、「マルタ・ラザロ・マリア」でなければなりません。これは私たちみなを持つべき正しい名前です。キリストにある信者たちは、宴席の召会生活のために、彼らの価値観を変えるべきです。キリストご自身は彼の信者たちにとって尊いものです。

II. 命の結果は、宴席の家としての召会生活です: A. 宴席の家は、復活の命によって生み出されます。召会は復活の命の産物です。

B. 全宴席の家は、宗教の外にあり、ベタニヤのらい病の人シモンの家にありました: 1. もし主が私たちをかわれみ、彼の霊が私たちの目を開いてくださるなら、私たちは、神が宇宙の中で行っていることは、ただ単に人々に彼を礼拝させ、彼に仕えさせることだけではないことを見るでしょう。この時代において、神の願いと意図は、御子の中で、彼の霊によって、彼の御言を通して人の中へと入って、人の命となり、人が彼のゆえに生きようになることです。

2. これは宗教や宗教的な観念とは完全に異なっています。宗教と、その教理、形式、儀式、規則は、キリストの臨在を持っておらず、また命の敵です。

C. ベタニヤには、主が泊まり、安息し、宴席に着き、満足を得ることができる家がありました。ユダヤ教が彼を拒絶した後、彼はいつもエルサレムを離れて、ベタニヤに泊まりました。

D. 召会は、らい病の人シモンによって代表される清められた罪人たちで構成されています。彼は主によっていやされたに違いありません:

1. 彼は主に感激し、主を愛したので、自分の家で主と彼の弟子たちのために宴席を設けて、主の臨在を享受しました。救われた罪人はいつもこのようになります。

2. 主はすでに私たちを死人の中から復活させ、私たちの罪を清めました。今、私たちがいる所は召会が集会する場所となっています。』

E. 外側では、召会は貧しく、苦悩があるかもしれませんが、しかしながら、内側では、召会のあらゆるものは尊く、甘く、愛らしいのです。なぜなら、私たちの主の臨在に対する享受は豊富であるからです。私たちは主と共におり、主は私たちと共にいます。

F. 内側では、召会生活は主の臨在の中で、また主と共に宴席を楽しむ生活です: 1. 召会生活の中で、私たちに必要な第一の事は、主の臨在です。主の臨在がなければ、召会生活は空っぽです。

2. 召会の中で、私たちが主は安息、享受、満足を得ます。ここにはいつも、主と彼の民のために用意された宴席があります。

3. 召会は主が彼の民と共に享受することのできる場所であり、また彼の民が主と共にいることを享受することのできる場所です。召会は主と彼の民が共に集まって、互いに宴席に着き、互いに享受する場所です。

G. 原則において、生き生きとした召会には、兄弟よりも多くの姉妹がいます。

I. 命は人のあらゆる状況の必要に応じて、神の家を建造します: A. 道徳的な人の必要は、命が再生することです。

B. 不道徳な人の必要は、命が満足させることです。

C. 死にかかっている人の必要は、命がやすことです。

D. 無力な人の必要は、命が生かすことです。

E. 飢えている人の必要は、命が養うことです。

F. 渴いている人の必要は、命が渴きをいやすことです。

G. 罪の束縛の下にある人の必要は、命が解放することです:

1. 罪のない者はだれであるか? 2. 罪に定め、また罪を赦すことができるのは、だれであるか? 3. 人を罪から解放することができるのは、だれであるか? 4. 罪の源と罪の繁殖はだれであるか? 5. イエスはだれであるか?

H. 宗教の中の盲人の必要は、命の視力と命の牧養です。

I. 死んだ人の必要は、命が復活させることです。』

H. 召会生活の中には、さまざまな機能があります。すなわち、仕え、証し、主を愛する機能です: 1. 仕える機能は、マルタによって代表されています。私たちはみなマルタに対する観念を変えなければならず、彼女を軽視してはいけません: a. 私たちはみな何人かの、主の中で勤勉で、能力があり、活発で、生き生きとした、実際的なマルタたちを必要とします。b. 召会の奉仕の中で、最初に必要とする機能は、実際的な諸事を顧みることです。

2. 証しする機能は、ラザロによって代表されています: a. ラザロは、主の復活の命の力の生ける証しまた証し人でした。b. この証しは人に、復活の力、復活の命の現れ、命としての主の享受を感じさせます。』

3. 主を愛する機能は、マリアによって代表されています。彼女は主を極みまで愛する人、持っている最も尊いものを主の上に注ぎ出す人を代表しています: a. 彼女の評価において、主は他の何よりもさらに価値があり、さらに愛すべきものでした。b. 私たちの最上の愛をもって主に油を塗ることは、召会生活の主要な表現、主要な面、主要な特徴です。c. 「その家は、膏油の香りで満たされた」。召会はここで、主イエスに注がれた膏油の香りの尊さ、甘さ、喜ばしさで満たされている家だとえられています。

d. ユダと他の弟子たちは、主にささげたマリアの愛を無駄遣いと考えました: (1) 過去の世紀を通じて、幾千幾万の貴重な命、心の宝、高貴な地位、輝かしい前途が、主イエスの上に「無駄遣い」されてきました。(2) そのように主を愛する者たちにとって、主は全く愛らしく、彼らのささげ物にふさわしい方です。(3) 彼らが主の上に注いだ物は、無駄遣いではなく、主の甘さの香ばしい証しです。e. キリストにある信者たちは、彼らの価値観を変えるべきです。キリストご自身は彼の信者たちにとって尊いものです: (1) 信者たちの正しい価値観は、キリストと彼の完全な救いの、以下の各面に対する彼らの見方と評価に見られます: (a) 主イエスに対する評価。』

(b) 十字架の言葉に対する評価。(c) 人の日常の必要と比較した、神の王国と神の義に対する評価。

(d) 自分の親族と比較した、主イエスに対する評価。(e) 全世界と比較した、人の魂に対する評価。

(f) 罪の重大さと終局と比較した、自分の体に対する評価。(g) 主の奴隷また互いに奴隷であることと比較した、宗教階級の地位に対する評価。(h) 地の宝と比較した、公義の宝としてのキリストに対する評価。(i) 見えない褒賞と比較した、罪の享楽に対する評価。(j) すべての事と比較した、キリストを知る知識に対する評価。』

(2) 私たちは、主が私たちに光を賜わって、私たちの価値観を徹底的に変えてくださるよう、求める必要があります。それによって、私たちは絶えずキリストと彼であるすべてを、私たちの超越してすばらしい分として選びます。

(3) 「もし、あなたが価値のないことを言わず、尊いことを言い出すなら、あなたは私の口のようになる」: (a) 私たちは主の言葉を、割り当てられた食物よりも尊び、主を彼の言葉の中で、良き地の実際として味わわなければなりません。良き地には養う乳と新鮮な蜜が流れています。それは私たちが、神の民の満ち満ちた救いのために、彼らに分与するためです。(b) 私たちは主の言葉を、地上のすべての富よりも尊ばなければなりません。それは、私たちが神の託宣を語って、キリストの計り知れない豊富を分与し、神のさまざまな恵みとすることができるためです。4. 私たちはみな召会の中で三つの役割を持つ肢体、「マルタ・ラザロ・マリア」でなければなりません。これは私たち皆を持つべき正しい名前です。召会生活には、主のための勤勉な奉仕、主の復活の命の生ける証し、主に注ぎ出された絶対的な愛がなければなりません。5. 真実な召会生活の中では、主に対する奉仕がささげられ、主の証しが人に見られ、主に対する愛が注ぎ出されます。これは、主のからだの真の表現であり、このからだは主を内容とし、主を表現する器です。』

第一日:ヨハネ3:5…人は水と霊から生まれなければ、神の王国に入ることはできない。

6 肉から生まれるのは肉であり、その霊から生まれるのは霊である。

12:1…イエスはベタニヤに来られた。そこには、イエスが死人の中から復活させたラザロがいた。2 そこで人々は、イエスのために晩餐を設けた。マルタは給仕をしていた。ラザロは、イエスと共に食卓に着いていた者の一人であった。

3 その時マリアは、非常に高価で純粋なナルドの膏油一リトラを取って、イエスの足に塗り、自分の髪の毛で彼の足をぬぐった。するとその家は、膏油の香りで満たされた。

4 ところが、弟子の一人で、イエスを裏切ろうとしていたイスカリオテのユダが言った、

5 「なぜこの膏油を三百デナリで売って、貧しい人たちに与えなかったのか？」。

6 彼がこう言ったのは、貧しい人たちを顧みていたからではなく、彼は盗人であって、金入れを預かり、その中のものを持ち出していたからである。

7 イエスは言われた、「するがままにさせておきなさい。彼女はわたしの葬りの日のために、それを取っておいたのだから。

8 貧しい人たちは、あなたがたといつも一緒にいるが、わたしはあなたがたといつも一緒にいるわけではないのだから」。

9 その時ユダヤ人の大群衆は、イエスがそこにおられることを知って、イエスのためだけでなく、彼が死人の中から復活させたラザロをも見ようとしてやって来た。

第二日:ヨハネ12:1 過越の六日前に、イエスはベタニヤに来られた。そこには、イエスが死人の中から復活させたラザロがいた。

マルコ14:3 さて、イエスがベタニヤにいて、らい病の人シモンの家で、食卓に着いておられた時、一人の女が、非常に高価で純粋なナルドの膏油の入った石膏の壺を持って来て、その石膏の壺を砕き、彼の頭に注いだ。

第三日:ヨハネ12:2 そこで人々は、イエスのために晩餐を設けた。マルタは給仕をしていた。ラザロは、イエスと共に食卓に着いていた者の一人であった。

ルカ10:40 ところがマルタは、あれこれともてなしすることで取り乱していた。彼女は近づいて来て言った、「主よ、私の姉妹が私一人にもてなしをさせているのに、何とも思われませんか？」

第四日:詩118:22 家を建てる者たちの捨てた石が、隅のかしら石になった。

ヨハネ12:3 その時マリアは、非常に高価で純粋なナルドの膏油一リトラを取って、イエスの足に塗り、自分の髪の毛で彼の足をぬぐった。するとその家は、膏油の香りで満たされた。

4 ところが、弟子の一人で、イエスを裏切ろうとしていたイスカリオテのユダが言った、

5 「なぜこの膏油を三百デナリで売って、貧しい人たちに与えなかったのか？」。

第五日:マタイ18:8 もし、あなたの片手が片足があなたをつまづかせるなら、それを切り取って捨てなさい。両手両足を持ったまま永遠の火の中に投げ込まれるよりは、片手片足で命の中に入るほうがよい。9 もし、あなたの片目があなたをつまづかせるなら、それをえぐり出して捨てなさい。両目を持ったまま火のゲヘナの中に投げ込まれるよりは、片目で命の中に入るほうがよい。

ヘブル11:24 信仰によって、モーセは成人した時、パロの娘の子と呼ばれることを拒み、

25 罪のはかない享樂にふけるよりは、むしろ神の民と共に虐待されることを選び、

26 キリストのそしりを、エジプトの財宝にまさる富と考えました。それは、彼が褒賞をひたすら望んでいたからです。

第六日:ピリピ3:7…私にとって益であった事柄を、私はキリストのゆえに、損失と勘定するようになりました。8 しかしさらに、私はまた、私の主キリスト・イエスを知る知識の卓越性のゆえに、すべての事を損失であると勘定します。その方のゆえに、私はすべての事で損失を被りましたが、それらをちりあくと勘定します。それは、私がキリストを獲得するためであり、9 そして、キリストの中に見いだされるためです。

エレミヤ15:19…もし、あなたが価値のないことを言わず、尊いことを言い出すなら、あなたは私の口のようにになる。…

経験①: マルタのように実務的な奉仕をし、ラザロのように復活の証しをする

召会生活の中にはさまざまな機能があります。召会の奉仕には、その家の三人の人物で代表された三種類の機能があります。第一はマルタで代表されている仕える機能です。全世紀を通じて、マルタは不公平に取り扱われてきました。…この章は、マルタは仕えたと言っています。これは非常に良いことです。なぜなら、召会の奉仕において、召会の諸事が顧みられなければならないからです。マルタがいなかったなら、どのようにして食事が顧みられることができたでしょうか？ 食物を準備するには彼女が必要です。私はマルタの奉仕を評価します。私たちはみな彼女に対する観念を変えなければならず、彼女を軽視してはなりません。私たちは姉妹たちがマルタになるよう励ますべきです。…仮に、姉妹たちがみなそこに静かに座っているマリアであって、霊的であるとし、だれが食事の準備をするのでしょうか？ 私たちはみな何人かの、主の中で勤勉で、能力があり、活発で、生き生きとした、実際的なマルタたちを必要とします。私たちは霊的ではありますが、やはり実際的に仕えなければなりません。マルタの奉仕はあの家で必要でした。同じように、召会の奉仕の中で、最初に必要とする機能は、特定の事柄を行なうこと、特定の実際的な諸事を顧みることです。

召会の奉仕における第二種類の機能はラザロによって代表されています。ラザロは何もしなかったかのように見えます。彼はただ主と共にそこで食卓に着き、彼と共に宴席を享受していました。しかし私たちは、ラザロが復活の命の生ける証しであったことを、覚えていなければなりません。彼は行なうことによってではなく、復活の命の中で生きることによって証したのです。マルタの奉仕は良かったのですが、それは人々を引き付けませんでした。彼らを引き付けたのはラザロの証しでした。…それは一種の働きではなく、一種の生活です。それは労苦することによるのではなく、主を享受することによります。この証しは人に、復活の力、復活の命の現れ、命としての主の享受を感じさせます。

中高生編

あなたは召会生活の中で、様々な実際的な奉仕にあずかってください。例えば、食事を用意すること、掃除すること、兄弟姉妹が真理の要点を実生活に適用するために作成しているプリントを作成すること、ブレンディングのために兄弟姉妹を家に接待することや、観光に連れて行くことです。これらの奉仕は、召会を建造するために必要なものです。あなたは、ただエンジョイするだけはいけません。集会やブレンディングでエンジョイするために、多くの実際的な奉仕が必要です。子供は小さい時に、親の苦勞を知らずにただエンジョイします。中高生の兄弟姉妹は、召会の中の霊的な親たちの苦勞を何も知らない小さな子供のごとくであってはいけません。可能な限り積極的に、実務的な奉仕にあずかってください。

このような奉仕は、あなたが将来職業に就いた時、あなたを大いに助けることができます。学生生活の本分は勉強ですが、若い時から勉強に加えて、このような実務的な奉仕にあずかることは、あなたにとってとても重要です。高学歴の多くの在職者は、勉強は熱心にしてきましたが、これらの実務的な事柄をどのように取り扱ったら良いのかを知りません。その結果、仕事を効率的に遂行することがあまりできません。

あなたはまた、ラザロのように、主の復活の命の経験について、毎週の主日集会、家庭集会、小組集会、福音集会などで証しをしてください。特に、毎週の主日の預言の集会で、その週に追求した真理とその適用について準備して、毎週預言することを訓練してください。このような証しは、新人を引き付け、兄弟姉妹にキリストを供給する命の務めです。ハレルヤ！

経験②: マリアのように主に純粋に愛し、貴い膏油を主の上に注ぎ出す

マリアが主イエスに貴い膏油を注いだことは、正当な召会生活のしるしです。あなたはマリアが最上の膏油を主イエスに塗ったことを認識しているかもしれませんが、おそらく、これが召会生活のしるしであることを見ていないでしょう。召会生活の主要な特徴は、私たちの最上の愛をもって主に油を塗ることです。召会生活の主要な表現、主要な面、主要な特徴は、私たちが自分の膏油を彼に注ぎ出すことです。召会はこの、主イエスに注がれた膏油の香りの貴さ、甘さ、喜ばしさで満たされている家にたとえられています。これは地方召会の主要な表現であるべきです。あなたが地方召会に入ってくる時、あなたがかくべき最初のものは、主イエスに注がれた愛のある膏油です。それはマリアが主を愛しただけでなく、彼女が自分の最上のものを主に注ぎ出したことであり、これが正当な召会生活のしるしとなります。

弟子たちは、主にささげたマリアの愛を無駄遣いと考えました。過去二十世紀を通じて、幾千幾万の貴重な命、心の宝、高貴な地位、輝かしい前途が、主イエスの上に「無駄遣い」されてきました。そのように主を愛する者たちにとって、主は全く愛らしく、彼らのささげ物にふさわしい方です。彼らが主の上に注いだ物は、無駄遣いではなく、主の甘さの香ばしい証しです。

いったん人が救われると、その人の価値観は変化します。彼は、以前自分が大事にしていたものを、もはや大事にしません。以前、自分が軽べつしていたものを、宝とします。これが、価値観における変化です。

在職青年編

地方召会の主要なことは、「私たちがマリアのように主に愛し、貴重な命、心の宝、高貴な地位、輝かしい前途を主イエスの上に無駄遣いする」を表現することです。

あなたはビジネス・パーソンとして、キャリアを成功させるために、勤勉に、前向きに働くべきです。あなたが主と共に召会建造のためにこのことを実行すれば、主はあなたのキャリアを祝福してくださるでしょう。しかし、あなたは主が与えてくださった祝福を、主ご自身以上に愛してはいけません。そうすれば、あなたは主の臨在を失い、結局、ビジネス・ライフにおいても祝福を失ってしまいます。あなたは次のように祈ってください、「主イエスよ、あなたが与えてくださった職業を感謝します。あなたがこの職業を祝福してください。しかし、私はあなたに一つのことを求めます。あなたご自身以上にあなたが与えてくださった職業などの祝福を愛することがないようにしてください。主よ、あなたご自身を求めます。あなたを私の夫として愛します。あなたご自身に触れ、あなたご自身を享受させてください。私はあなたの御前に来て交わる時、私の生活の必要や、召会生活の必要を一旦脇にやり、ただあなたご自身を求めます」。

もし、あなたがこのように祈るなら、主の甘い愛に触れ、さらに主ご自身に引き寄せられるでしょう。夫と妻は、どんなにお金がたくさんあっても、愛がなければ正常な結婚生活は成り立ちません。同様に、主の愛に触れ、主を最上の愛で愛さなければ、あなたの正常なクリスチャン生活と正常な召会生活は成り立ちません。あなたはまず、主を熱烈に愛すべきです。アーメン！

過去二十世紀とおし、
千万の貴ちょうないのち
ころのたから
高貴な地位 かがやかしい前途
主-イエスに
無駄づ-かいされてきた
主を愛すものに 主は愛らしく

すべてさ-さぐ
ささぐにふさわしいかた
主にそそいだのは 無駄でない
香-ばしいあかし 甘き主 あかしす
主にそそいだのは 無駄でない
香-ばしいあかし 甘き主 あかしす

詩歌

ささげる—イエスの証しとなる

1. 主イエス、ふかく愛す、純粹もとめ
ときをあがない享受す、愛めぐみを。
いま自分自身を主に ささげます。
すばらしいじょう就、めぐみ、あわれみゆえ。
みや—のもんで、わがみみをひらき
あなたが召すとき、永遠に忠信でありたい。
なが愛とねたみの ところにわれ印としませ。
生—涯あなたを あいします。
2. かみよ、ひれ伏します、おく義見せる
知恵とけいじの霊を あたえませ。
あなたのしんせいな エコノミー。
キリストのからだ のため われささげる。
実際にもたらず ひとつ霊のなかで
す—くいエン ジョ イシ、
イエスのあかしとな—る。
主よはやく来ませ！あなたはやくそくされた。
主のさいりんのみ わがのぞみ。

奉獻—成為耶穌の見證

1. 主耶穌，我是真愛你，願意單純，
贖回我所有的光陰，享你愛、恩。
哦看哪！我能在今天，全然奉獻，
是因你始終的恩眷，奇妙成全。
求你開通我耳，在你這神家的門，
當你發出呼聲，我願意永遠向你忠誠。
把我印在你心，以你愛甚至你嫉恨，
讓我一生做你瘋狂愛人。
2. 榮耀神，今願在這裡，向你屈膝，
賜我們智慧啟示靈，得見奧秘。
這一生只願投身你神聖經綸，
只為你永遠的心意：基督身體。
在我調和靈裏，帶我進身體實際，
享你加強救恩，使我們成耶穌の見證。
主阿！願你快來！照著你所曾經答應，
我們惟一羨慕是你再臨。

To Become the Testimony of Jesus

1. Jesus Lord, truly I love Thee; My heart refine!
I'd redeem each precious moment,
To enjoy Thy love divine.
Lord, behold, all to Thee I yield,
Constrained this day. By compassions never failing,
Thy perfecting care, Dear Lord, open mine ear,

At the doorpost of God's house,
Responding to Thy voice,
I would be Thine and Thine forever,
Set me a seal on Thine heart, With Thy love,
even Thy jealousy, Let me be Thy crazy lover
Through all my days.

2. God of glory, we bow the knee, Grant us today
Spir't of wisdom, revelation, The mystery to see,
I'd outpour all my life for Thine Economy,
Just for Thine eternal pleasure, The Body of Christ,
In my mingled spirit lead me To the Body's reality,
In Thine intensification
Make us the testimony of Jesus
O Lord! For this we yearn! Quickly come,
as once Thou promised! Lord, our deepest longing
Is Thy return!

補充本305

- 1 主よ、うるわしさのゆえ、わがころをひらく。
いま宗教より解かれて、ただながうちに住む。
主の栄光を見上げつつ、かがやきに満たされ、
わがうちに浸透しませ、なれとわが霊はいち。
- 2 主よ、すみわたるそらに、ひとの子、御座に見る。
ほのおもて焼き尽くせ、主のみ、かがやくまで。
なれの栄こう見るとき、自己愛、恥じて失せぬ。
なが名のあまさ、知って、あいと賛美ささげる。
- 3 主よ、ナルドのこう油を、よろこびもてそそぐ。
ながこうべにそそぎ出し、主よ、われをささげる。
ながため無駄づかいし、ふかきあいに満ちる。
あたひ、たかきあぶらを、たくわえ、そそぎたし。
- 4 主よ、香のやまで、かおを 合わせてまみえたし。
わがいずみ、飲みたまえ、ながむねにいこうまで。
なが愛するはなよめは、主よ、なれをあがめる。
主よ、いそぎ来たりませ、わが愛はなれを待つ。

补充本 #305 主耶穌，你美丽夺了我心

1. 主耶穌，你美丽夺了我心，我全心向你完全敞开；
释放我，脱离宗教的义务，只让我永远享你同在。
当我在此注视你的榮耀，我的心充满了你榮耀；
浸透我，主，我今恳切求禱，以你灵与我灵永相调。
2. 光照者—我的天何等明亮，我看见人子在宝座上；
圣别者，以神的火焰烧我，直等我因你灼灼发亮！
主，当我初次看见你榮耀，自爱与夸耀同归羞惭；
今我心涌出爱戴与颂赞，品尝你名里一切肥甘。

3. 宝贝主，我将真哪哒香膏，为你爱，欣然打破倾倒，
我的主，我前来膏你的头，看哪，主，为你我献上好。
亲爱主，我甘愿为你枉费，爱着你，我深处就满足。
为着你，贵重油我早预备，要将爱从心深处倒出。
4. 良人哪，快来到香草山上，我切慕与你早面对面。
主，请喝我心所流出之泉，我巴望永远在你身边。
我并非单独的来爱你，主，乃是与众圣作你新妇；
快来吧，我们爱已经久等，主耶穌，愿意你得满足。

Hymns,#1159

1. Jesus Lord, I'm captured by Thy beauty,
All my heart to Thee I open wide;
Now set free from all religious duty,
Only let me in Thyself abide.
As I'm gazing here upon Thy glory,
Fill my heart with radiancy divine;
Saturate me, Lord, I now implore Thee,
Mingle now Thy Spirit, Lord, with mine.
2. Shining One — how clear the sky above me!
Son of Man, I see Thee on the throne!
Holy One, the flames of God consume me,
Till my being glows with Thee alone.
Lord, when first I saw Thee in Thy splendor,
All self-love and glory sank in shame;
Now my heart its love and praises render,
Tasting all the sweetness of Thy name.
3. Precious Lord, my flask of alabaster
Gladly now I break in love for Thee;
I anoint Thy head, Beloved Master;
Lord, behold, I've saved the best for Thee.
Dearest Lord, I waste myself upon Thee;
Loving Thee, I'm deeply satisfied.
Love outpoured from hidden depths within me,
Costly oil, dear Lord, I would provide.
4. My Beloved, come on spices' mountain;
How I yearn to see Thee face to face.
Drink, dear Lord, from my heart's flowing fountain,
Till I rest fore'er in Thine embrace.
Not alone, O Lord, do I adore Thee,
But with all the saints as Thy dear Bride;
Quickly come, our love is waiting for Thee;
Jesus Lord, Thou wilt be satisfied.